NEWS RELEASE

名古屋市東区東桜一丁目１番１号
アーバンネット名古屋ネクスタビル

2023 年 9 月 7 日

各 位

日本特殊陶業株式会社

サステナブルファイナンス・フレームワーク策定のお知らせ

Niterra グループ 日本特殊陶業株式会社（社長：川合 尊、本社：名古屋市東区）は、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを一層推進するべく、該当するプロジェクトに必要な資金をサステナブルファイナンスにより調達するために、サステナブルファイナンス・フレームワーク（以下、本フレームワークという）を策定しましたので、お知らせいたします。

なお、本フレームワークに基づいたサステナブルファイナンスの実施は、市場環境等を勘案のうえ、別途決定する予定です。

１． 本フレームワーク策定の目的・背景

当社は事業を通して社会的課題の解決に貢献したい、というサステナビリティにつながる思いを込めて、世界の人々に「新たな価値を提案」、「貢献」といった言葉を用いた企業理念、CSR・サステナビリティ憲章を策定しております。そしてその思いにもとづき、さまざまな社会的課題解決に資する製品・サービスを生み出していくことが、当社の使命であり、存在意義であると認識しています。

この当社の使命は、国産自動車産業の黎明期にスパークプラグの生産に乗り出した創業時代から現在に至るまで、当社内に脈々と受け継がれております。祖業であるスパークプラグ生産はいまや世界 No.1 の地位を確立するまでに成長いたしましたが、自動車業界の 100 年に 1 度の大変革や気候変動・ESG 課題への関心の高まりなど世の中の大きな変化を受け、今こそ持続可能な社会の実現に向け新たな事業の創出に取り組んでいく必要があると認識しております。

大変革を迎える自動車業界において当社が持続的に貢献・成長できる企業であり続けるために、2050 年カーボンニュートラルを目指すことを前提として、当社は 2030 年までのありたい姿（目標）と 2040 年までの目指す姿を示す「エコビジョン 2030」を策定しました。「エコビジョン 2030」では、事業および製品が社会に及ぼす影響と自社に及ぼす影響を分析のうえ、影響が大きい 13 課題を抽出し、その中で特に影響が大きいと判断した「気候変動への対応」「環境配慮製品の拡充」「水資源の保全」「廃棄物管理」については、重要 4 課題と位置付けて、定量目標を設定しています。「エコビジョン 2030」の実践を通じて、地球規模のカーボンニュートラルやゼロエミッションの実現に貢献できるよう、グループ一丸となって取り組んでまいります。

現在、当社は内燃機関事業を中心としたビジネスを展開しており、安定的な供給とエネルギー効率の向上を支える技術開発を行うことで、お客さまのニーズに応えてまいりました。

名古屋市東区東桜一丁目１番１号
アーバンネット名古屋ネクスタビル

このような状況の中、当社は2023年７月の取締役会において、株式会社デンソーが運営するスパークプラグ事業および排ガス用酸素センサに係る事業の譲受に向けた協議・検討を開始する基本合意書を締結することにつき決議し、両社で基本合意いたしました。本事業譲受により、内燃機関製品の生産体制が最適化することによる安定的な供給、さらには、スケールメリットが生まれることにより、生産過程における業界全体での環境負荷低減等の社会課題への貢献が期待できるものと考えております。

加えて、持続的な成長に向け、内燃機関事業のみならず、「新しいビジネスへの挑戦」、「事業構造の転換」が必要となっております。長期経営計画を踏まえ、今後注力する事業を「環境・エネルギー」「モビリティ」「医療」「情報通信」の４分野に定め、非内燃事業の事業規模拡大を目指しており、持続可能な事業運営と同時に、持続可能な社会を築くための挑戦を始めております。

今後一段と強固となる自動車関連事業を土台に持続的な成長を実現し、将来へ向けた取り組みをも活性化させることで、当社が長期経営計画で掲げる事業ポートフォリオ転換を推進できるものと考えております。

さらに、当社は2023年４月より英文商号を「NGK SPARK PLUG CO., LTD.」から「Niterra Co., Ltd.」（読み方：ニテラ）へ変更いたしました。Niterraの名には「地球全体を輝かせる」という想いを込めております。今後も世界のさまざまな課題に向き合い、持続可能な社会へ貢献することはもちろんのこと、地球全体を輝かせる企業となるべく、当社は本フレームワークに基づいたサステナブルファイナンスを通じて上記取り組みに必要な資金を調達し、世の中に求められる製品・サービスを生み出してまいります。

２．　本フレームワークの概要

本フレームワークに基づいて実施可能なファイナンス形態	・ グリーンボンド / グリーンローン ・ ソーシャルボンド / ソーシャルローン ・ サステナビリティボンド / サステナビリティローン
第三者機関による評価	本フレームワークについては、第三者機関である株式会社格付投資情報センター（R&I）より ICMA※1 グリーンボンド原則 2021、ICMA ソーシャルボンド原則 2023、等に適合している旨のセカンドオピニオンを取得しています
ストラクチャリング・エージェント※2	野村證券株式会社

※1　国際資本市場協会

※2　サステナブルファイナンス・フレームワークの策定および第三者評価取得の助言等を通じて、サステナブルファイナンスの実施支援を行う者のこと

株式会社格付投資情報センター（R&I）による本フレームワーク評価結果

セカンドオピニオン（SPO）

本フレームワークの詳細

サステナブルファイナンス・フレームワーク

名古屋市東区東桜一丁目１番１号
アーバンネット名古屋ネクスタビル

ご注意：　この文書は、本フレームワーク策定に関して一般に公表するための発表文であり、投資勧誘又はそれに類する行為を目的として作成されたものではありません。

以　上